

ドロー編成 方針

- 1 鳥取県の代表として、中国大会・全国大会で活躍してもらうにふさわしい力量あるチームを選出し、本大会の意義を高める。
- 2 そのために、できるだけ同一校、同一地区対戦を避けたり、
地区予選順位の高いものが上位大会へ進出しやすいよう、ドロー編成は、
県総体実行委員会において多角的視点からバランスを保つよう留意する。
- 3 ただし、各地区の予選を勝ち抜いた代表選手の功績が翌年へ引き継がれるよう、前年度の実績の団体8本・個人16本程度を考慮したドロー原案を専門委員長が作成し、県総体実行委員において修正するという手順でドローを編成する。
- 4 修正の方法は出席者の合意または抽選とする。
- 5 大会の安定を図る目的において、内規を設ける。

(例) 団体戦大会参加枠についての内規

- ・ 東部、中部、西部の部活動チーム数に比例するよう、
現在は以下のようになっている。

男子：東7・中2・西7 女子：東6・中4・西6

(例) 個人戦大会参加枠についての内規

- ・ 同一地区で決勝戦を行った場合、参加枠28ペアを
上限として+1を与える。(現在+1は西部が保有)